

進路だより

広島県立西条特別支援学校

進路指導部 No.7

令和3年12月17日

小学部でのキャリア教育の取組

本校では「キャリア教育全体計画」（「進路指導ガイドブック」p2）を作成しています。小学部では「育てたい児童生徒像」を「友だちと協力し、自分の役割を果たすことができる児童」としています。そういう児童を育てるために「生活に即した体験的な学習に参加し、なかまや身近な人と協力して活動することによって、人と関わる楽しさや社会への関心をもつ」ことをキャリア教育の目標としています。



今号では小学部での日常の中で、キャリア発達につながる取組を振り返ってみたいと思います。



本校に入学すると、小学部から高等部の児童・生徒に加えてたくさんの教職員という、幅広い様々な年齢層からなる集団（社会）での活動が始まります。今年度の「進路だより No. 1」（5/14 発行）で、ジョブサポートティーチャーの増田先生からの文章の中に「いろいろな企業等で数日間の実習をさせてもらおうと、ほとんどの企業の指導者から『あいさつ』や『返事』、そして『コミュニケーション』が重要であるとお聞きします。」とありました。この『あいさつ』『返事』『コミュニケーション』はと

ても具体的で重要なキーワードで、「人と関わる楽しさ」「社会への関心」を育むうえでとても大切です。日常的な取組の積み重ねが大事なのです。

学校のなかでは、たくさんの人とあいさつを交わす機会があります。小学部でも、毎日の『あいさつ』をそれぞれの児童の実態に合わせて繰り返し学習し、積み上げていきます。そして朝の会では、それぞれの児童にあった方法で呼名の『返事』をしたり、係分担をして自分の役割を意識して果たしたりします。また、新型コロナウイルス感染症対策を行う状況が続く現在の状況では、大人数が集まったの活動はできませんが、児童会・生徒会活動として、iPadなどの機器を使用してのリモート参加で、児童会やクラブ活動を行い、学級や学年の枠を超えた『コミュニケーション』の場をつくって活動しています。また、小学部行事に向けた取組も同様です。例えば、7月に実施した「わくわく夏遊び大会」では、自分たちで遊びを計画実施し、友達と遊びの交流をして楽しみました。11月の「収穫祭」では、友だちと協力し芋ほりをしました。





わくわく夏遊び大会

今は新型コロナウイルス感染予防対策のため、当初の計画通りの実施はできませんでしたが、校外学習や宿泊学習、修学旅行も重要なキャリア教育の場です。実施に向けて、友達と一緒にやりたいことを考え、共有・協力して、係分担します。事前学習で、公共交通機関や社会資源の活用について学習し、事後学習で

学習したことを確かめます。

このように、集団の中で積極的に楽しむ、友だちに関心を持ち、協力し、助けたり、助けられたりして、コミュニケーションをし、社会性を培う場になることを意識しています。

また、学校行事として、文化祭のステージ発表、こころのいずみ作品展への出展などを通して、身近な人と協力してのびのびと活動して、人と関わる楽しさを感じ、社会への関心をもち、「知りたい」「伝えたい」「やってみたい」という思いを発信していける児童の育成に取り組んでいます。



修学旅行事後学習

文化祭ステージ



児童会活動内容		
1	5月21日	児童集会（自己紹介・目標発表）
2	6月11日	クラブ（4・5年担当）
3	7月9日	児童会 夏祭り計画・準備
4	9月17日	クラブ（6年担当）
5	11月12日	綱引き大会
6	12月10日	クラブ（4・5年生担当）
7	1月21日	クラブ（6年生担当）
8	2月4日	クラブ（4・5年生担当）
9	3月4日	児童会集会
クラブは担当学年が計画・進行する。		

小学部の行事	
4月	新入生歓迎会
7月	わくわく夏遊び大会
11月	収穫祭
2月	箱庭駅伝
3月	6年生を送る会